

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊中市立千成小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒 561-0829  
大阪府豊中市千成町 2-2-65

E-mail : t\_sennarisho@city.toyonaka.osaka.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 155 名 女子 196 名 合計 349 名  
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 1. 実践について (内容・取扱教科・領域等・時数)

1 学期	2 学期	3 学期
全学年 6月 平和学習 (総合 4h)  4年 5月 暮らしと水 (理科環境 10h)  4年 6月 暮らしとゴミ (社・総合 環境教育 10h)  6年 6月 環境 (理科 10h)	6年 9月 平和教育 (総合 15h)  5年 9~10月 米作り (理・総合 20h)  3年 1月 昔の暮らし (社会 10h)  1・2年 10~2月 まちづくりワークショップ (生活 25h)  2年生 11~12月 外国語体験 (生活 4h)	4~6年 外国語活動 (総合 3h 多文化共生)

### 2. 研修について

学期	実施月日	講師名・テーマ	成果
1 学期	6月26日	姜正美 (多文化共生)	文化の違いを超えて平和な世界を創る
2 学期	9月17日	中谷久美子 (盲導犬ユーザ)	障害児者共生教育
	10月2日	豊永恵三郎・西田吾郎 (平和学習・被爆者語り部)	広島修学旅行において現地で被爆体験のある語り部から被爆から今日までの経験を聴き取った
	12月4日	井上康さん (AZ 障害者教育)	まちづくりワークショップに活かすことができた

ESD教育のテーマは人権教育、国際理解教育、環境教育など多岐にわたるが、問題は、扱うテーマの問題ではなく、その視点と手法であると考え、今年度も持続可能な世界をつくること、それを支える市民としての知識や行動力をどのように育むのかという視点で取り組みを行った。扱う教材は多岐にわたり、それらを網羅することは困難であるが、個々のプログラムの質をどのように高めていくのかを今後の課題としたい。

また、手法で言えば、今年度低学年の生活科で扱った「ミニせんりまちづくり」ワークショップは、とよなか国際交流協会、庄内公民館、保護者をスタッフとして迎え、多文化共生や障害者との共生社会をつくるために講師を招きながら子どもたちと理想のまちづくりをワークショップ形式で行った。

大切にしたのはそのコンセプトだけでなく、子ども会議を中心とした子どもの権利条約の具現化や社会参画に向けての主体づくりである。内容的にも持続可能な世界観を人権教育の視点から深めようと昨年度に引き続き努力したが、来年度以降はその成果をふまえ、中学年・高学年のプログラムとの系統性を探りたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）